



## 歯の健康について考える



先週から今週にかけて、保健室の平野先生が各学級をまわり、学年に応じた歯磨き指導を行いました。6月の子供たちのアンケートからは、「毎日給食後に歯磨きをしている」と答えたのは、全体で28%だったようです。それも高学年になるに従い、給食後に毎日歯磨きをしているという人は減っているようでした。なぜ、歯磨きが大切なのか、歯の健康について考える学習でした。

低学年は、乳歯から大人の歯に変わる大切な時期であること、中学年はスポーツと歯の健康は関係することなどを学習していました。

高学年では、平野先生が歯科医に「給食後の歯磨きも必要なのか、朝夜だけではだめなのか」と尋ね、歯科医からの回答を分かりやすく解説していました。「油污れになっている食器をそのままにしていると汚れが落ちにくい」「三角コーナーのヌメリは水だけでは落ちない」等の例えもあり、子供たちは「なるほど～」と毎食後の歯磨きの重要性を感じたようでした。高学年になると、委員会活動などもあり、昼休みも忙しい人もいますが、この学習を機に歯磨きの習慣をつけて、健康な歯を持続させてほしいと思います。ご家庭でも話題にいただけるとありがたいです。

## 5年生の総合的な学習の時間に県立大の先生方、学生さんが来校！



先生方の紹介をしている様子



「さるべじ」の活動を紹介



グループで意見を出し合う様子

9月4日(月)5校時に熊本県立大学の環境共生学部 田尻准教授と「さるべじ」という大学サークルに所属している学生さんが5年生に授業をしてくださいました。5年生は、今まで「語り合おう若葉校区の環境」という大テーマのもと、1学期に野菜作りに挑戦しました。自分たちで野菜作りを経験し、食を通して環境やSDGsについても考えています。今回は、大学生から「規格外の野菜をどう活用していくとよいか」のテーマに自主的に考え、色々なことに取り組んでいるという話を聞くことができました。5年生も「初めて知ったこと」や「自分たちができること」、「やってみたいこと」などをグループで語り合っていました。積極的に大学生に質問をする5年生の姿もあり、活気に満ちた時間でした。